

大規模事業評価の評価書について(県立高等技術専門校再編整備事業)

大規模事業評価とは、行政活動の評価に関する条例により、あらかじめ定められた基準に沿って自己評価を行い、対象事業を実施することが適切であるかを判定するものであり、行政評価委員会への諮問・審議、県民意見聴取及び委員会からの答申を経て、評価書の要旨(案)及び評価書(案)を作成したものの。

○評価書の概要

・事業名

県立高等技術専門校再編整備事業

・事業概要

若年者の人口減少、企業が求める人材の変化、効率的・効果的な校運営の観点から、将来を見据えて高等技術専門校 5 校を 1 校に再編して、現仙台高等技術専門校敷地に新設（一部改修）する。また、訓練科の見直しや訓練内容の充実を図るとともに、人材開発センターについても築年数が経過していることから建て替える。これにより、富県躍進に向けたものづくり産業の人材育成を図るもの。

・事業内容

予 定 地	仙台高等技術専門校敷地内（仙台市宮城野区田子 1-4-1）	
敷 地 面 積	39,028.24㎡	
事 業 規 模	本館（鉄筋コンクリート造）	3,871.80㎡
	実習棟（鉄筋コンクリート造）7棟	13,128.58㎡
	（うち改修2棟）	5,232.77㎡
	人材開発センター棟（鉄筋コンクリート造）	1,008.00㎡

・事業スケジュール

令 和 4 年 度	プロポーザル方式による設計事業者選定
令 和 5 ～ 6 年 度	基本設計・詳細設計
令 和 6 年 度	改修工事・仮設建物工事
令 和 7 年 度	解体工事（本館等）
令 和 8 ～ 9 年 度	新築工事
令 和 1 0 年 4 月	供用開始（予定）

・事業費

総 事 業 費	19,889百万円
うち初期建設費	12,168百万円
うち維持管理費	7,721百万円（維持管理期間20年）

○行政評価委員会（大規模事業評価部会）の実施状況

日 時	内 容
R3.11.1	行政評価委員会への諮問、評価調書公表、パブリックコメントの実施
R3.11.17	第3回大規模事業評価部会
R3.12.15	第4回大規模事業評価部会
R4.1.21	答申

○答申の内容

答 申：事業実施妥当

- 意見①：再編整備により閉校となる県立高等技術専門校の跡地を管理するリスクを十分に認識し、早期に効果的な利活用方法について検討すること。
- 意見②：県立高等技術専門校の厳しい入校者状況を真摯に受け止め、再編整備の基本方針における取組内容をより具体化し、県民の理解が得られるように努めること。また、引き続き職業能力開発校として求められる役割を調査・分析し、競争力のある県立高等技術専門校のプログラムを検討すること。
- 意見③：再編整備により配慮が必要となる学生に対し、情報技術の活用による柔軟なカリキュラム等による学生支援のほか、関係機関と連携しながら、その家族への支援等も包括的に展開すること。
- 意見④：県立高等技術専門校に外国人留学生の入校が可能になり、再編整備基本計画の基本条件を大きく変更する場合は、抜本的に当該計画を再検討すること。

○答申に対する検討結果

- 検討結果①：跡地の利活用については、行政財産としての有効活用を前提に、所在地の自治体とも協議を行い、早期に利活用策を決定できるよう検討してまいります。
- 検討結果②：入校者の状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、有識者等に意見を伺いながら、再編整備の基本方針の取組内容をより具体化してまいります。また、職業能力開発校の役割について、国の動向や他県の事例等を調査・分析しながら、競争力のある県立高等技術専門校の訓練内容等を検討してまいります。
- 検討結果③：再編整備により配慮が必要となる学生に対し、情報通信技術を活用した技能の習得支援や関係部署と連携した各種相談支援等を行うほか、学生が心身ともに安定した訓練生活と就職活動に取り組めるよう精神保健福祉士等を配置し、学生の家族も含めた相談支援等に努めてまいります。
- 検討結果④：現時点においては、評価書で示した事業内容、事業費の範囲内での留学生の受入を可能とすることを想定しておりますが、再編整備基本計画の基本条件の変更が必要となった場合は、変更内容を踏まえ、当該計画の再検討に取り組んでまいります。